

外部設計指針

(基本設計指針)

平成 20 年 10 月 07 日
第 3 版

株式会社エクスブリッジ

EXBRIDGE, Inc.

<http://exbridge.jp/>

目 次

第1章 指針概要.....	3
1－1．指針の目的.....	3
1－2．ドキュメント構成.....	3
1－3．ドキュメント関連図.....	4
第2章 設計書について.....	5
2－1 業務フロー設計.....	5
(1) 画面遷移図.....	5
2－2 画面設計.....	6
(1) 画面レイアウト.....	6
(2) 入出力仕様.....	6
2－3 DB設計.....	7
(1) テーブルレイアウト.....	7
(2) ER図.....	9
第3章 参考.....	10
設計書に対する過去の問い合わせ.....	10
第4章 エクスブリッジからのお知らせ.....	11

第 1 章 指針概要

1-1. 指針の目的

近年、システム開発を行うにあたり外部設計以外の部分（内部設計やプログラム開発部分）をオフショア（外注もしくは、中国などの外国へ委託）する場面が多くなってきております。またお客様へ低価格なシステムをご提供するには、その必要性が高くなってきております。

詳細設計からプログラム開発をオフショア開発で成功させる為には、外部設計の指針を明確にする必要があると考え当指針を作成するにいたしました。

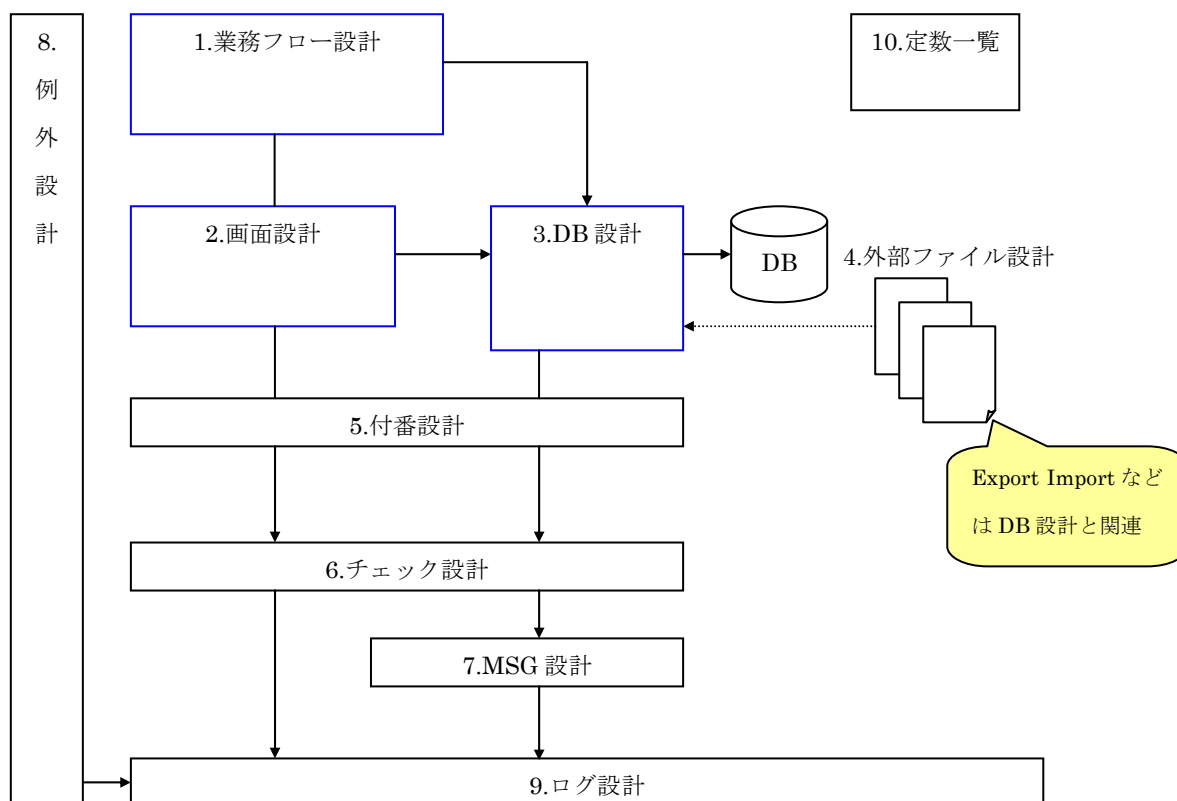
当指針は、外部設計を作成するエンジニア・プログラム開発者に対しての資料となるように作成しております。

またお客様と利用されるシステムエンジニアとがシステム内容を決定する為の資料でもあります。

1-2. ドキュメント構成

ドキュメント名称	備考
1. 業務フロー設計	【概要】 システム全体像、業務の流れ、運用ルール、画面遷移 【役割】 システム範囲の明確化
2. 画面設計	【概要】 画面レイアウトと入出力仕様 【役割】 画面の仕様とレイアウトの明確化
3. DB 設計	【概要】 テーブル仕様、ER 図 【役割】 データベースのレイアウトの明確化

1-3. ドキュメント関連図



第2章 設計書について

2-1 業務フロー設計

(1) 画面遷移図

①記述すべきこと

- ・画面一覧
- ・帳票一覧
- ・イベント一覧
- ・全画面の遷移
- ・全帳票の出力タイミング
- ・全バッチの起動タイミング
- ・ユーザ権限の影響範囲

②ルール

- ・画面 ID・帳票 ID を記述すること
- ・命名規則
- ・ユーザ権限ごとに画面遷移を記述すること
- ・ユーザ権限によるイベントの制限を明確にすること

③成果物

基本設計_共通_業務フロー.xls	1-1. 画面一覧
	1-2. 帳票一覧
	1-3. バッチ一覧
	1-4. 画面遷移図

2-2 画面設計

(1) 画面レイアウト

①記述すべきこと

- ・画面設計共通規約
- ・画面全体像
- ・画面で利用する全項目
- ・機能の概要
- ・単体フロー図（利用資源の全体像を図で表す）

②ルール

- ・要求する機能を記述すること
- ・複数の検索時などの検索条件を記述すること
- ・検索方法を記述すること
- ・登録／更新／削除／参照のテーブル対象を明確に記述する

③成果物

基本設計_画面_共通	2-1. 共通設計	
基本設計_画面_[画面名].xls	2-2. 画面レイアウト	2-2-1. 画面イメージ 2-2-2. 機能概要 2-2-3. 単体フロー図

(2) 入出力仕様

①記述すべきこと

- ・画面の全項目
- ・画面とテーブルの対応関係
- ・項目の仕様
- ・画面には不要でもプログラムに必要なテーブルの項目

②ルール

- ・テーブル設計書と同一の項目名を記述すること
- ・マルチランゲージ対応の属性で記述すること
- ・ユーザ権限による影響を記述する

③成果物

基本設計_画面_[画面名].xls	2-3. 画面入出力項目一覧
-------------------	----------------

2-3 DB設計

(1) テーブルレイアウト

①記述すべきこと

- ・ テーブル名の命名規約
- ・ 全テーブル
- ・ 項目名の命名規約
- ・ 全項目
- ・ テーブル関連図

②ルール

- ・ 同一項目は別テーブルであっても、同一名で記述すること
- ・ 項目型一覧を記述すること
- ・ AutoIncrement は使用しない
- ・ テーブル名 prefix 命名規約は以下の通り記述すること

体系	物理名 prefix
システム管理系	Tbs
マスター系	Tbm
トランザクション系	Tbt
View 系	Tbv
ワーク系	Tbw

Datetime は

- ・項目名 suffix 命名規約は以下の通り記述すること

体系	物理名 suffix	型	備考
フラグ	flg	varchar (1)	
区分	Kb	varchar (32)	
日付	dt	varchar (32)	時間を含む
時間	tm	varchar (32)	
コード	cd	varchar (255)	
名称	nm	varchar (255)	
データ	dat	varchar (255)	
ID	id	decimal (15, 0)	単純にカウントアップする採番方法をする AutoIncremen を使用せず テーブルで番号を管理する
番号	no	decimal (15, 0)	採番テーブルによる規則的な採番をする
レベル	lv	decimal (15, 0)	
数量	su	decimal (15, 3)	液体などに対応する為に小数点をもつ
単価	tnk	decimal (15, 3)	
金額	kin	decimal (15, 0)	
バージョン	ver	decimal (15, 3)	
率	rt	decimal (15, 3)	%, rate
登録日	add_date	Datetime	テーブルへのデータ追加時刻
更新日	upd_date	Datetime	テーブルへのデータ更新時刻
備考	bk	text (65535)	
並び	lst	decimal (15, 0)	Order_lst のように並順で利用

※ id と no の違いについて

「id」は、システム上の都合でユニークキーを採番するなど
お客様に直接関わらない部分で利用します。

「no」は、お客様のご要望にあわせて開始番号や終了番号、
また採番の方法などが単純ではない場合に利用します。

③成果物

基本設計_共通_DB.xls	3-1. テーブル一覧 3-2. テーブル定義
----------------	----------------------------

(2) ER図

①記述すべきこと

- ・ 全テーブル
- ・ テーブル項目名
- ・ テーブルの接続関係

②ルール

- ・ テーブルと同一であること
- ・ DBDesigner を利用すること
- ・ 主キーを記述すること
- ・ NULL 不可の項目の記述をすること
- ・ AutoIncrement は利用しないこと

③成果物

基本設計_共通_DB.xls	3-3. ER図
----------------	----------

第3章 参考

設計書に対する過去の問い合わせ

(1) 【問合】画面の各項目の **maxlength** などがわからない

【原因】 マスタプログラム作成を DB 設計書と画面 HTML のみで
依頼した為

【対応】 **maxlength** は DB 設計書に従い、画面は提供している html を使う
ように指示

(2) 【問合】画面入出力仕様のテーブル対応項目が判りにくい

【原因】 テーブル対応項目が論理項目名で記述してあり、論理名の似た項目
名がある

【対応】 テーブル対応項目は物理名で記述する

(3) 【問合】DB設計のテーブルレイアウトの項目名 **suffix** 命名規約が判り難い

【原因】 命名規約が日本語・英語で混在である

【対応】 判りやすい名前をつける事を優先しており、日本にて英語名で浸透
している項目名については英語とし、それ以外は日本語としており
ます。

第4章 エクスブリッジからのお知らせ

■ オープンソース活動に参加しています

エクスブリッジはオープンソース活動に積極的に参画しています。

開発実績の中で培ったノウハウをオープンソースソフトウェアとして提供し、社会に貢献していきたいと考えています。

詳細はEOS Projectサイトをご参照ください。 <http://eos.exbridge.jp/>

■ 自社製品パッケージを開発しています

エクスブリッジは、基幹業務システム、動画配信システム、携帯ソリューション、オフショア開発を得意とする企業です。

2008年より SaaS 事業を開始し、お客様のあらゆる要望に対応しています。

詳細はエクスブリッジ公式サイトをご参照ください。 <http://exbridge.jp/>

■ 協業パートナーを募集しています

1) 販売パートナー

販売代理店として、弊社製品・サービスを仕切り価格で仕入れていただき、エンドユーザ様に再販していただくパートナーです。

2) 開発パートナー

弊社製品のカスタマイズ開発を請けて頂くパートナーです。

3) OEMパートナー

弊社製品・サービスを自社ブランドの製品・サービスとして販売していただく、パートナーです。

■ ご連絡・ご相談をお待ちしております

エクスブリッジの取組および製品に興味をお持ちになられた方、共感を覚えていただいた方は、是非ともご連絡をお願いします。社員一同、精一杯の誠意を込めて、対応させていただきます。

資料請求、製品説明依頼、協業依頼等の連絡はこちらまで。

=====

T E L : 052-533-0043 / F A X : 052-581-6081
E - M A I L : info@exbridge.jp

=====